

## 設備管理/定期点検・整備業務一覧

## 1. 姫路市家島B &amp; G海洋センター・姫路市立家島運動広場

設備名	内 容	点検回数
電気設備	受電電圧 6, 600V 受電設備容量 105KVA  電気事業法、自家用電気工作物保安 規程等、関連法規に基づいた点検・整 備	月次点検 通電運転状態で行う外観点検 遠隔監視装置を設置した場合は隔月 点検でもよい  年次点検 年1回 停電し、測定試験・継電器との連動動 作試験及び精密試験を行い、試験成 績書を作成
給排水衛生設備	受水槽 容量 FRP 5m <sup>3</sup>  ア ポンプ類 イ 受水槽のメーター確認	ア 日常点検 異音の有無及び目視に よる確認  イ 2か月に1度、メーター値を確認 し、姫路市上下水道サービス課(料 金担当)へ報告
消防設備	消防法第17条の3の3に規定に基づ く点検整備  ア 消火器 イ 自動火災報知設備 ウ 誘導灯及び誘導標識 エ 非常放送装置 オ その他消防法に規定すること	機器点検 6か月に1回  総合点検 年1回 消火器、法定薬品取替等も含む。  点検結果の報告 年1回 消防法施行規則第31条の6第3項 第1項に基づいた報告
ろ過設備	珪藻土式ろ過装置 ア ろ過機本体 イ ろ過ポンプ ウ 弁類 エ ろ過材 オ ヘアキャッチャー カ 圧力計 キ 凝縮材注入装置及び自動塩素注 入装置 ク 制御盤	定期点検 年2回 日常点検 異音の有無及び目視による 確認

冷熱設備	<p>プール温水化装置 集熱器 平板型 130枚</p> <p>ポンプ類</p> <p>無圧缶水式温水ボイラー ア 燃料関係 イ バーナー関係 ウ 本体関係 エ その他</p> <p>蓄熱槽 容量 12 m<sup>3</sup></p> <p>地下オイルタンク 容量 1,900 L</p>	<p>定期点検 年2回</p> <p>日常点検 漏水がないか目視にて点検 異音の有無 蓄熱槽内の水温が適正か 確認すること 地下オイルタンクから油の 漏洩がないことを確認する こと</p>
栈橋設備	<p>ア 浮栈橋 イ ピアフロート ウ タラップ エ 電動チェーンブロック</p>	<p>浮栈橋及びピアフロート 風波による流出がないよう万全に固 定すること。 タラップ及び電動チェーンブロック 日常点検 目視による動作確認</p>
小型船舶	<p>ア 船名 汽船B&amp;G 総トン数 0.20トン 長さ 3.19m 船質 FRP 搭載人員 旅客2名、船員1名 計3名</p> <p>イ 船名 ポンツーンボート 総トン数 5トン未満 長さ 7.05m 船質 FRP 搭載人員 旅客12名、 船員1名 計13名</p>	<p>ア 点検種類 中間検査 令和9年7月15日まで（前回令和 6年4月16日に定期検査済み）</p> <p>イ 点検種類 定期検査 令和7年度受検予定</p>
ナイター設備	<p>設置場所 ア グラウンド</p>	<p>日常点検 目視による点灯確認</p>

	イ テニスコート	
姫路市家島 B & G 海洋センター	建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）第 12 条第 2 項、昇降機以外の建築設備及び防火設備については同条第 4 項に基づく点検	特定建築物の点検 3 年に 1 回 特定建築物の点検については令和 6 年度に実施済み  建築設備及び防火設備 年 1 回

## 2. 姫路市立坊勢スポーツセンター・姫路市立坊勢運動広場

設備名	内 容	点検回数
電気設備	受電電圧 6, 600V 受電設備容量 500KVA  電気事業法、自家用電気工作物保安規程等、関連法規に基づいた点検・整備	月次点検 通電運転状態で行う外観点検 遠隔監視装置を設置した場合は隔月点検でもよい  年次点検 年 1 回 停電し、測定試験・継電器との連動動作試験及び精密試験を行い、試験成績書を作成
給排水衛生設備	ア ポンプ類  イ 受水槽 容量 FRP 36m <sup>3</sup> 2槽式（18m <sup>3</sup> ×2）  水道法 34 条の 2 の 2 及び水道法施行規則第 55 条、56 条に基づく清掃及び点検	ア 日常点検 異音の有無及び目視による確認  イ 受水槽清掃及び清掃等 年次点検 年 1 回 受水槽の清掃及び消毒 ポンプ室給水等に係る器具点検 給水の水質検査（一般項目） 法定検査報告
消防設備	消防法第 17 条の 3 の 3 に規定に基づく点検整備 ア 消火器 イ 自動火災報知設備 ウ 誘導灯及び誘導標識 エ 非常放送装置 オ その他消防法に規定すること	機器点検 6 か月に 1 回  総合点検 年 1 回 消火器、法定薬品取替等も含む。  点検結果の報告 年 1 回 消防法施行規則第 31 条の 6 第 3 項第 1 項に基づいた報告
ろ過設備	砂ろ過装置及びポンプ類	

	<p>(25mプール・幼児プール及び流水プール(アクアトレーナー)の2系統)</p> <p>1. 砂ろ過装置</p> <p>ア ろ過タンク本体</p> <p>イ ろ過ポンプ</p> <p>ウ 弁類</p> <p>エ ろ過砂</p> <p>オ ヘアキャッチャー</p> <p>カ 圧力計</p> <p>キ 自動塩素注入装置</p> <p>ク 制御盤</p> <p>2. ポンプ類</p> <p>ア 給水ポンプ</p> <p>イ 温水ポンプ</p> <p>ウ 湧水ポンプ</p> <p>エ 屋内消火栓ポンプ</p>	<p>定期点検 ろ過装置類 年3回</p> <p>ポンプ類 年1回</p> <p>日常点検 漏水がないか目視にて点検すること</p>
冷熱設備	<p>真空式温水ボイラー</p> <p>ア 燃料関係</p> <p>イ バーナー関係</p> <p>ウ 本体関係</p> <p>エ 送風機関係</p> <p>オ 抽気真空関係</p> <p>カ 安全装置関係</p> <p>キ その他</p> <p>貯湯槽</p> <p>容量 3000ℓ×2</p> <p>地下タンク貯蔵所</p> <p>容量 4,000L</p>	<p>真空式温水ボイラー及び貯湯槽</p> <p>定期点検 年4回</p> <p>日常点検 正常に稼働しているか目視にて点検すること</p> <p>貯湯槽</p> <p>日常点検 貯湯槽内の水温が適正か確認すること</p> <p>地下タンク貯蔵所</p> <p>定期点検 年1回</p> <p>消防法第14条3の2、危険物の規制に関する規則第62条の5の2の規定に基づく検査及び報告</p>

		<p>点検結果報告 年 1 回</p> <p>地下タンク貯蔵所点検表に基づく点検</p> <p>日常点検 油の漏洩がないことを確認すること</p>
昇降機設備	<p>昇降機</p> <p>定期点検</p> <p>ア 運転状況確認</p> <p>イ 機械室関係</p> <p>ウ かご関係</p> <p>エ 昇降機・ピット関係</p> <p>オ 乗り場関係</p> <p>カ その他</p> <p>キ 保全記録</p> <p>総合点検</p> <p>ア 総合診断</p> <p>イ 各部位の診断</p> <p>遠隔監視点検</p> <p>ア 監視結果</p> <p>イ 受信内容及び措置</p> <p>ウ 診断運転結果</p> <p>エ 各機器の診断結果</p> <p>オ 階床別使用状況</p> <p>カ 起動回数・照明点灯回数グラフ</p> <p>キ 走行時間・走行距離グラフ</p>	<p>建築基準法第 12 条の 3 に基づく点検及び報告</p> <p>定期点検 年 4 回</p> <p>総合点検 年 1 回</p> <p>遠隔監視点検 年 1 2 回</p> <p>日常点検 正常に稼働しているか動作確認をすること</p>
自動ドア設備	<p>自動ドア</p> <p>ア ドアエンジン駆動装置</p> <p>イ ドアエンジン制御・電気部</p>	<p>定期点検 年 4 回</p> <p>日常点検 正常に稼働しているか動作</p>

	ウ ドアエンジン動力部装置 エ ドアエンジン懸下部 オ センサー部	確認をすること
空調設備	ア 室外機	定期点検 3年毎 令和4年実施  フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づく定期点検
中央監視設備	ア センター装置 イ 個別端末機 ウ 計測端末機 エ その他	定期点検 年1回 緊急点検 オンコールによる緊急対応
機械警備設備	ア 警報制御盤 イ コントロールスイッチ ウ 検知器 エ その他	定期点検 年1回  日常点検 正常に稼働しているか動作確認をすること
アクアトレナー設備	ア アクアトレナー（流水プール）	日常点検 正常に稼働しているか動作確認をすること
ナイター設備	設置場所 ア グラウンド イ テニスコート ウ 坊勢運動広場	日常点検 目視による点灯確認
姫路市立坊勢スポーツセンター	建築基準法（昭和25年法律第201号）第12条第2項、昇降機以外の建築設備及び防火設備については同条第4項に基づく点検	特定建築物の点検 3年に1回 特定建築物の点検については令和6年度に実施済み  建築設備及び防火設備 年1回